

消防団活性化推進コース(消防団員向け)における教育訓練

令和5年度消防団活性化推進コースでは、消防団員の教育と訓練を通じて、地域の防災力向上を目指しています。このコースでは、消防団員が必要とされる幅広い知識やスキルを習得するための様々なトレーニングを集合研修として実施しています。

基礎教育では、消防団の基本的な知識や技術についての学習を行います。地震や火災などの大規模災害発生時等に適切に対応するために、消防法や安全管理などについて学ぶとともに、消防団員としての役割や責任について確認します。



講義の様子

実火災体験型訓練では、実際の火災をシミュレートし、訓練参加者が実際の火災での対処方法や避難手順を学びます。この訓練は、訓練参加者が火災発生時に冷静に行動し、適切に対応する能力を身につける事を目的としています。

大規模火災発生時には、チーム全体の協力や連携が不可欠なものとなりますので、より効果的な活動を行うための方策を考えます。



実火災体験型訓練

その他、地域防災力向上を目的とした図上訓練や安全管理を目的とした危険予知訓練なども実施します。

消防団員は火災現場での消火活動や避難指導など、現場での実践的な活動を行うことが求められます。そのため、消火技術だけでなく、煙の中での避難行動及び自身の安全管理など、現場で必要な技術や知識を身につけるための訓練を行います。



危険予知訓練

さらに、心理的なサポートや協調性を養うためのチームビルディングについても講義で触れていきます。消防活動は団結力や連携性が重要であり、チームとしての力を高めるためのトレーニングが行われることで、より効果的な活動が実現されます。

以上が、令和5年度消防団活性化推進コースにおける教育訓練の一部です。消防団員の皆さんが地域の安全を守り、防災活動に貢献するために必要な知識やスキルを身につけることができるよう、意欲的に取り組んでいただきたいと考えております。